中原　泉
一枚の写真
⑰

最古の歯科医学校の歯学部長

わが畏友，クリスチャン・ストーラー。

私たち夫妻は昭和58年９月，小倉英夫夫妻，小林義典教授とともに，姉妹校の調印にミシガン大学を訪れた。アンナーバーに着いた時から，世話をしてくれたのが若い C. ストーラー夫妻だった。

Dickに厳命されたらしく，夫妻は，初めての日本人を心からもてなしてくれた。彼らは，スイスのベルン大学歯学部の同級生で，口喧嘩しながら仲のよいおしどり夫婦ぶりをみせていた。クリスチャンはシャイで，おだやかな，優しい人柄に，シャープな頭脳を秘めていた。

それから23年後の平成18年，私は，本学創立100周年記念式典に，来賓としてストーラーを招待した。当時，彼はメリーランド大学の歯学部長を務めていた。同大学歯学部の前身は，世界で最古の歯科医育機関であるボルチモア歯科医学校である。奇しくも，本学創立者の中原市五郎先生は，1916（大正5）年にメリーランド大学から名誉博士号をうけた。

メリーランドに着任以来５年余，ストーラーは寄付金をあつめて臨床実習棟を建て，斬新な教育システムを導入した。その大胆な改革は内外から注目され，彼の抜群の指導力は高く評価されていた。

100周年記念式典を終えて，小倉教授の采配により，私たちは姉妹校の調印をした。本学16校目の国際姉妹校であった。

それから７年後の平成25年，本学創立107周年記念式典において，ストーラー歯学部長に本学名誉博士の称号を授与したいと伝えた。彼と夫人は，忙しいなか喜んで駆けつけてくれた。

新潟生命歯学部での特別講演のあと，新潟駅頭での別れ際，私は，彼の耳元に小倉教授がCであることを告げた。彼が見えないことを気にしていたのだろう，クリスチャンは蒼白になって狼狽し，両肩をおとして声をひそめて咽び泣いた。

帰国後，慌しくクリスチャンからEメールが入った。ニューヨークのコロンビア大学の歯学部長に選任されたという。同大学の副学長，総合研究所長を兼ねるという。アメリカのトップ校である同大学は，もっとも相応しい人物に白羽の矢をたてたのだ。

（写真：名誉博士号をもつ Dr. ストーラーと夫人）